

行政視察報告書

令和7年 11月 30日

長浜市議会議員 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員

加納 義之

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 会派新しい風 厚生労働省 行政視察

2. 視察期間 令和7年 11月 12日 (水)

3. 視察場所及び目的

①場所：衆議員第二会館 第10会議室

目的：厚生労働省との職員との意見交換で、国の政策動向を把握し、長浜市の地域医療の推進に資するため

4. 調査内容感想等

・視察の目的

■厚生労働省における地域医療の方向性について

・視察内容

① 地域医療構想の現状と今後の方向性

・医政局地域医療計画課医師確保等地域医療対策室との意見交換 (佐藤 剛主査)

② 公立・公的病院の役割と再編方針

・厚労省 (佐藤主査)、総務省自治財政局公営企業課準公営企業室 (有村誠一郎補佐)

③ 医師・看護師の確保対策と地域偏在是正策

・医政局看護課 (大河内誠補佐)・医政局医事課 (木村裕太専門官) 医政局地

域医療計画課医師確保等地域医療対策室（横手大輝主査）

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

■ 新たな地域医療構想について

・現行の地域医療構想では、病床の機能分化・連携であり、団塊の世代が全て75才以上となる2025年に向けて、高齢者の医療需要が増加することが想定される。約300の構想区域を対象として、病床の機能分化・連携を推進するための2025年に向けた地域医療構想を策定。今後、新たな地域医療構想として、入院医療だけでなく、外来医療・在宅医療・介護との連携、人材確保等を含めた地域の医療提供体制全体の課題解決を図る地域医療構想を策定する。

- ① 2040年頃に向けて、医療・介護の複合ニーズ等を抱える85才以上の増加、人材確保の制約、地域差の拡大が想定される。
- ② 増加する高齢者救急・在宅医療の需要への対応、医療の質や医療従事者の確保、地域における必要な医療機能の維持が求められる。
- ③ 病床の機能分化・連携だけでなく、外来医療・在宅医療、介護との連携、人材確保等を含めたあるべき医療提供体制の実現に資する新たな地域医療構想を策定。
- ④ 2040年やその先を見据えて、地域の実情に応じて、「治す医療」を担う医療機関と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、医療機関の連携・再編・集約化を推進することが重要である。このため、病床の機能分化・連携に加え、高齢者救急の受入、在宅医療の提供、救急・急性期の医療提供等地域ごとの医療機関機能の確保や医育及び広域診療等の総合的な機能をもつ広域な観点の医療機関機能の確保に向けた取組みが重要になると思う。